

岩手山

東北北部

大地獄谷滑降

1995年3月18~19日

メンバー：L. 岡坂準一、山崎義男、手塚紀恵子

18日(曇)盛岡よりバスで網張スキー場へ。とても空いていて、ローカルな雰囲気のスキー場だ。待ち時間全くなしのリフトを3本乗り継いで、最上部に出る。ここからシールにスキーアイゼンを付けて登りだすが、雪が固い。固すぎる。こんなに固くてよいのだろうか？犬倉山は左手を巻き、姥倉山、黒倉山は右手を巻いて、火口底への下降点に出る。トレースがあり、ルートファインディングの苦労はないが、とにかくどこもかしこもカチカチに固まった雪面なのには閉口した。前日は、東京では春一番が吹き大荒れだったがここ岩手山でも雨だったそうで、どこもかしこもしっかり雨が降ったのだろう。おまけにこの日は曇天の低温で、雪がゆるむ気配は全くない。下降点は夏道のあるゆるい所を見つけて下るのだが、視界がよければ問題なく見つけられる。シールを外し慎重に滑降する。エッジは辛うじてかかり、気合いを入れて何とか滑り降りる。右手にトラバース気味に滑って、大地獄谷の源頭部に出る。ここからシールを付けて、沢状の所をゆるく登り、1550M辺りで左手の尾根に入るが、ここの急登で私はギブアップして、アイゼンで登る。アイゼンでも全く潜らない固い雪だ。夏道通りに不動平に出る。ここの小屋は使える気配がなく、反対側に少し行った所にある小屋を使わせていただく。8合目の表示があり、冬期小屋として開放してある。広い小屋でトイレも中にあり、一旦入ったら二度と外には出

たくない快適さだった。

19日(曇)明け方からやたら風が強くなったようだ。青空に岩手山頂が真っ白く見えたかと思うと、すぐに全面ガスに覆われてしまう。不安定な天候だ。焼走溶岩流側の一枚バーンは、このアイスバーンでは危険、と判断した。さらに、山頂往復もやめて、大地獄谷を下る事にする。このルートは以前私が下った事があり、とにかく往路に戻るよりはよいだろうという事になった。不動平まではアイゼンで歩き、そこからスキーで滑降した。こんな固い雪、無事滑れるだろうかと不安があったが傾斜はさほどではなく、固い分だけターンは楽なので、慎重に慎重に下っていった。それでもとにかく固いので、ちょっとした雪の出っ張りを拾ったり、沢状のU字形の部分に入ってしまうと即スキーを取られてしまう。なるべくツルツとした広い斜面を見つけて滑る様にした。大地獄谷沿いに滑ると崖状の所に出ってしまうため、右岸上の台地に登り、大地獄谷と左保沢の間を滑り降りていく。樹間のやたら狭い所があって、苦労しながら下って行くが、もうどうにもならない位混んだ急斜面になってしまい、私はスキーを担いでアイゼンで下りだした。こんな所でも岡坂さんはさっさと下ってしまい、下で叫んでいる。声のする方に行くと、滑り台のような急斜面が見える。こんな密林帯の中で、よくあんな木のない斜面を見つけたものだと感心してしまう。もうちょっとでも雪が柔らかければスキーを着けても、と思ったが、そのままアイゼンで後向きで下った。斜面の長さはたいした事無く、その前後は緩い斜面で、たまたまそこを下っただけの事で、そこを通らなければ下れないといった代物ではないようだ。ちなみに、山スキールート図集では別ルート

を紹介しており、私も前回はそのルート
を難なく下ったように記憶している。
雪に隠れた左保沢を越して、焼切沢右
岸に入るとトレースがあり後はそれを
辿って、緩い斜面を下っていく。さす
がの固雪もここまで来るとゆるんでき
て、今度はやたら引っ掛かって困る。
あきらめて滑っていると、ブナ林に入
り、ここはなぜかうまく回転できる雪
質になっていて、しばし楽しむ。やが
て、右手に林道を見て滑降は終了する。
除雪された林道をしばらく辿り、T字
路を右に入ると東八幡平スキー場に着
く。11年前は、林道も除雪されてお
らず、滑っていると突然リフトが見え
てきて驚いたが、今回はリフトは全然
見えなかった。植林した樹木がすっか
り成長して、リフトを完全に隠してお
り、11年の歳月の長さを思い知らさ
れた。緩斜面のゲレンデをしばし滑つ

て、山行の締め括りとする。ゲレンデ
下では折り好く甘酒をサービスしてお
り、実にタイミングよく3人揃って手
を伸ばしてごちそうになった。岡坂さ
ん達はタクシーで網張スキー場に向か
い、私は、盛岡行きのバスを待って、
その日のうちに帰京した。バスを待っ
ている間に雪がバンバン降りだしてき
て、岩手山をすっかり覆ってしまった。
(手塚 記)

タイム：18日 網張スキー場上10:45
—下降点12:50 /13:15—下降終了13:25
—不動平8合目15:45 (泊)

19日 不動平8合目9:00—不動平9:25
/35 —1400M10:20 —1350M10:55/11:10
—1220M11:45 —1050M12:30 —林道
出合 (滑降終了) 13:35 —東八幡平ス
キー場14:35 —スキー場下14:40

